

9 月度合同セミナーの開催

東京第 447 回 (2013 年 9 月度) 例会

<東京 EAC 第 447 回、関西 EAC 第 448 回、中国 EAC 第 251 回>

主催：東京設計管理研究会

1. 日 時：2013 年 9 月 13 日 (金) 13:15 ~ 17:15
2. 開催場所：東京都立産業技術研究センター 5 階 講堂
(TEL) (03)-5530-2111(代) (FAX) (03) 5530-2318
3. 開催担当：株式会社工学研究社 吉川雅之 (東京 EAC)
4. プログラム
 - (1) 各 EAC 会長挨拶 (13:15 ~ 13:25)
 - (2) 発表 1 (東京 EAC)
(発表者) 株式会社 NTT データエンジニアリングシステムズ 経営企画室 林田 雅裕 様

(テーマ) 「3D プリンターの製造業における最新事情」 (13:25 ~ 14:05)

3D プリンターは「MAKERS」の影響もあり、現在は世界的なブームとなっています。マスコミにも多く取り上げられ、誰もがメーカーになれる時代の到来と騒がれているもののその実態はどうか。そして国内の製造業はこの 3D プリンターとどう向き合っているのか、事例をもとに 3D プリンターの最新事情を報告します。

(3) 発表 2 (関西 EAC)

(発表者) 富士ゼロックス株式会社

商品開発本部 ヒューマンインターフェースデザイン開発部 蓮池 公威様

(テーマ) 「観察とプロトタイピングによるヒューマンセンタード・イノベーションの実践」 (14:05 ~ 14:50)

人々の生活や仕事が多様化する中で、ユーザーの価値観やコンテキストを理解し、その活動の場に価値のある体験を生み出すことが、ますます重要になってきています。ユーザー自身も意識していない潜在的なメッセージを発見し、イノベーションにつなげるには、エスノグラフィックなアプローチによる観察やインタビュー、また、ユーザー体験のプロトタイピングが有効です。私たちが取り組んできたアプローチ、事例を紹介し、議論をしたいと思います。

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科造形工学専攻を修了。富士ゼロックスでは、製品のユーザー・インターフェイス・デザイン、デザイン戦略、インタラクションデザイン、ワークプレイス研究などに従事。現在は、将来デザイン活動およびHCD(ヒューマンセンタードデザイン)の実践と研究を行う。NPO法人 人間中心設計推進機構評議員、武蔵野美術大学造形学部基礎デザイン学科非常勤講師。

(4) 発表3 (中国EAC)

(発表者) 三菱農機株式会社 事業本部 開発管理グループ 河本雅史様

(テーマ) XVLを使った組立工程設計と作業指示<工程D/B構築の紹介>

設計の3D化が進んでいく上で、設計以外の業務で3Dデータの活用を進めている。

その中で、組立関係への活用事例を中心に

- ・設計の構成と組立の構成をどう管理しながら工程設計や作業指示をしていくか
- ・現場へどう浸透させていくか

など三菱農機グループで取り組んでいる事例を紹介します。

(14:50 ~ 15:35)

(5) 休憩

(15:35 ~ 15:40)

(6) 施設見学

(15:40 ~ 17:10)

主催者ご挨拶 (都立産業技術研究センター広報室 上席研究員 榎本博司様)

その後、グループに分かれて見学

(7) 事務局からの諸連絡

(17:10 ~ 17:15)

(8) 3EAC合同懇親会

(17:20 ~ 19:20)

5階 食堂 フリードリンク 会費 3,000円

当日は、関西設計管理研究会から、浜田会長様始め、16名のご参加を頂きました。

中国設計管理研究会からは、平田会長様始め、3名。

東京設計管理研究会からは、31名。約50名の参加となり、会場の設備もよく盛大な会となりました。施設見学も、3班に分かれて、約1時間、管内の施設をまんべんなく見学させて頂きました。中でも、「雷」を発生させる機械には、みなさん大変驚いた様子でした。

例会終了後の懇親会も、約40名近くのご参加を頂きまして、3設計管理研究会の親睦もより深まったと思います。

不慣れな進行にもかかわらず、無事、会を終えることができました。感謝。

幹事 吉川記